

進路便り 支部PTA版

宮城県登米高等学校
進路指導部
令和元年6月発行

梅雨の季節になりました。生徒たちは新しい学年・クラスや部活動にも慣れてきて、13日からの定期考査に向けて学習を進めております。4月の初めに「実力テスト」を実施しました。教材としてベネッセコーポレーション(株)の「スタディーサポート」を活用しました。本校の実情は表1のとおりです。

表1 平成31年4月実施 スタディーサポート結果

	1学年	2学年	3学年
学習到達ゾーン(学力)	C3	C3	D1
学習到達ゾーン(学習)	B2	C1	C1
平日の学習時間	1時間19分	20分	32分
休日の学習時間	2時間01分	48分	1時間11分
参考(Bゾーン平均)	平日	1時間19分	1時間18分
	休日	2時間17分	2時間20分
			3時間07分

※ 学習到達ゾーン(学力)の一般的な例

- A~Bゾーン (4年制大入試レベル, 公務員, 学力重視の企業への合格を目指す。)
- Cゾーン (4年制大学の推薦入試での合格, 一般的な企業への合格を目指す。)
- Dゾーン (最低限度の学力はあるが, 中学校までの学習内容を見直す必要がある。)

圧倒的な学習時間の不足(特に2~3学年)が見られます。家庭学習をして授業の学習内容を理解させようという姿勢が欠ける部分があるように思われます。**お子さんの家庭学習の時間は十分に確保できているでしょうか?**ご家庭でもより一層のお声かけをお願いいたします。

さて、次に4月に実施した進路希望調査の結果(表2)をご覧ください。ここ数年間の民間就職希望者の比率が下がり、進学希望者の割合が増えてきたことが特徴ですが、2年生については民間就職希望者の割合が少し高くなっているなど、学年によって特徴が分かれています。引き続き「一人ひとりの進路希望の実現」に向けて今年度もそれぞれの進路希望に対応した行事等や課外講習、模擬試験を実施いたします。今年度もよろしく願いいたします。

表2 平成31年度進路希望状況(第1回進路希望調査4月実施)

	第1学年				第2学年				第3学年				
	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系	
進学	四年制大学	17名	13名	15名	16名	18名	9名						
	短期大学	6名	1名	2名	0名	6名	2名						
	省庁管轄校	0名		1名		3名							
	看護学校	3名		6名		5名							
	専門学校	17名		24名		44名							
進学未定	12名		2名		0名								
就職	公務員	11名		6名		10名							
	民間就職	管内8名	県内5名	県外1名	未定1名	管内13名	県内6名	県外4名	未定2名	管内10名	県内6名	県外2名	未定0名
	自営	0名		0名		0名				0名			
	未定	5名		2名		2名				2名			
	合計	100名		合計	99名			合計	117名				

3月に卒業した116名の進路決定状況を下に示しました(表3)。普通科のみの高等学校となつて2年目の卒業生でしたが、進学と就職の割合は大きく変わりませんでした。昨年度卒業生の進学や就職の状況をもとに簡単にまとめました。ご参考としてください。

(1) 進学 ~入りやすさや「ブランド」のようなもので学校を判断しない~

- ・AO(アドミッションズ・オフィス)入試や推薦入試(指定校・公募)での合格が例年同様多く見られました。 ※ 指定校一覧は、今年度のものを随時更新中(3年教室, 進路閲覧室)
- ・小論文や面接の練習を入念に行う姿が見られました。

※ AOや推薦で多くの学校が行います。看護系では一般でも面接が行われます。**小論文は一朝一夕に上達しません。面接も丹念な練習が功を奏します。**面接の準備についてはこの時期からできるはず。ギリギリに準備しないよう時間に余裕を持って行いましょう。

- ・最後まで粘って一般入試で合格を勝ち取った生徒もいました。各教科の課外講習が年明けまで続けられ、入試突破の原動力の一つとなりました。

※ 大学や短大からの話として、**AOや推薦で合格した学生の学力不足が取り上げられることがあります。**センター試験の活用など継続的な学習を行いましょ。入試対策の照準は一般入試の突破(=進学先で求められる学力)です。今年度の3年生のがんばりに期待します。1・2年生は、今のうちに基礎基本の部分を定着させることが不可欠です。「3年生になってから」では遅きに失します。日々の学習習慣の見直しをしましょう。

- ・専門学校はAO入試や推薦入試で早期に面談が行われ、エントリー通過 → 本出願 → 合格となる例が多く見られました。「合格は夢への通過点」にすぎないことに留意し、資格検定の取得など合格後もたゆまず歩み続ける気概を持ち実践していきましょう。

(2) 民間就職 ~いつも有効求人倍率が高いとは限りません~

- ・30年度同様、管内のみならず各地で製造業の求人が多い(求職者数は少ない傾向)など有効求人倍率が高い中で就職活動となりました。1回目で合格となった生徒が多かったものの、粘り強く準備を進め、複数回目の受験で合格をつかんだ生徒もいました。

※ 企業のことを調べ、説明を聴き、見学により自分で確かめるというプロセスを大事にしましょう。**「就職後のミスマッチ」を減らす工夫が必要**です。早期離職は本人とっても企業にとっても良い影響を及ぼしません。長く働き続ける企業に就職しましょう。

(3) 公務員 ~地道な努力が功を奏します(特に、政治経済、数的・判断推理~

- ・行政職, 消防士, 警察官の合格者が出来ました!!

※ **継続した努力をしていくことが欠かせません。**1・2年生のうちから学習を進める必要があります。ライバルは高校生とは限りません。(専門学校生は有力なライバルです。)

表3 平成30年度卒業生進路決定状況

	進学							就職					望臨・時的未確任用希	合計	
	大学	短大	省庁管轄校	看護専門	准看	専門各種	計	民間就職			公務員	自己開拓			自営・計
								管内	県内	県外					
男子	11	1	3	0	1	14	30	2	1	2	3	1	9	0	39
女子	7	10	1	8	1	34	61	7	4	3	0	1	15	1	77
合計	18	11	4	8	2	48	91	9	5	5	3	2	24	1	116

進路関連行事（6, 7, 8月）

	1年	2年	3年
6月	○13日(木)～18日(火) 考査	○13日(木)～18日(火) 考査	○13日(木)～18日(火) 考査 ○19日(水)～ 進学, 公務員課外 ○24日(月) 面接講習会(6h) ○28日(金) 就職ガイダンス(登米)
7月	○6日(土) 先輩に聞く ・小論文模試(全員) ・卒業生講話 ・大学等の出前講座 ○7日(日) 模試 ・進学模試(希望者) ○6日(土)～ 三者面談 ○23日(火)～29日(月) 課外講習(進学・公務員)	○6日(土) 先輩に聞く ・小論文模試(全員) ・卒業生講話 ・大学等の出前講座 ○7日(日) 模試 ・進学模試(希望者) ○6日(土)～ 三者面談 ○23日(火)～29日(月) 課外講習(進学・公務員)	○6日(土) 先輩に聞く ・小論文模試(全員) ・卒業生講話 ・大学等の出前講座 ○7日(日) 模試 各種模試(全員) ○6日(土)～ 三者面談 ○下旬 3年就職希望者集会 ○23日(火)～31日(水) 課外講習(進学・公務員・民間就職)
8月	○21日(水) 課題テスト	○21日(水) 課題テスト	○9日 就職希望者出校日 ※ 模擬試験(就職, 公務員) ○24日(土) 模擬試験(看護)

大学入試説明会・職場訪問

現在、3学年・進路指導部等の教員で、3年生が志望している大学・短大等の入試説明会に参加し、確かな入試情報を収集しています。また、今年の卒業生が就職した企業への職場訪問も行い、仕事への定着状況を確認するとともに今年の求人予定について話を聞いています。

これらの情報は「進路便り7月号」にポイントをまとめて、進路情報として生徒・保護者の方へ情報提供したいと考えています。ぜひご覧ください。



三者面談 7月6日～

各クラスで日程調整が行われるかと思えます。よろしくお願ひいたします。三者面談では学年によって話す内容の重点ポイントも異なるかと思えますが、1期の成績やスタディーサポートの結果に加えて、多くの場合 **現段階の進路希望についての話になります。**

希望進路を達成するためには、本人が努力をすることがもちろんのことですが、努力を引き出すために周囲の支えが不可欠だと言われます。特に一番の理解者であり、身近な相談役の保護者の皆様の役目は非常に重要です。 **進路について親子で話す機会の確保をお願いします。**

3学年の三者面談は進路に関する話題が多くなります。進学であれば具体的な志望校・学部・学科、受験方法(AO, 推薦, 一般)・科目、出願期間、学習状況、試験日、もしものときの併願校などの内容です。就職であれば具体的な企業、職種、希望する勤務地域、受験に向けての学習などが主となります。具体的な確認が行えるよう準備をお願いします。また、進路指導関連で不安な点やお悩みの点につきましては、三者面談の機会のみならず担任あてにご相談ください。

【重要情報1】 例) (3年間の欠席日数) 企業 (3日～10日) 大学・専門学校等 (7日～20日) など

各企業及び大学・短大・専門学校の推薦等の条件で欠席日数の条件が厳しくなっています。健康管理を心掛け、欠席・遅刻・早退をしないようにしましょう。

3年進学・公務員課外スタートします 小論文添削指導もスタートします！！

3年進学・公務員の平常課外の開講式を6月6日(木)に行いましたが、1期考査後の6月19日(水)から講習を開始します。進学は希望のあった科目について課外を開講します。(一斉講習を行うものと個別に講習を行うものとに分かれます。)公務員は出題頻度の高い分野である「数的推理」「判断推理」の各分野と適性対策を実施します。早い段階から計画的な継続した勉強により、しっかりとした学力を身につけて受験に臨みましょう。

また、3年生の希望生徒を対象に、個別の小論文の添削指導を行います。全教員に協力をお願いし、一人ひとりの先生が担当する生徒を年間通して指導します。与えられたテーマに対し、限られた時間内で自分の考えを文章にしていけるためには練習を要します。担当の先生に何度も添削指導をお願いして、少しずつ力をつけていきましょう。

保護者のみなさまへ…差し出がましいかもしれませんが…

お子さんの進路決定に際しては、ご家庭の全面的なバックアップが不可欠です。一般的なことですが、ご留意いただきたい点について以下に記します。参考にさせていただけますと幸いです。

1 「子どもの好きなように＝無関心」とならない工夫を

進路選択については最終的に担任や保護者に相談することになります。「子どもの好きなように」という理解のある親のように思える部分もあるのですが、「放任」「無関心」と思われてしまう場合もあります。どのような道に進もうとしているのか、解決すべき課題がどこにあるのか、どのような準備が必要なのか…早い段階から話し合い、考える時間を確保していただきたいと思います。

2 準備は早めに、かつ、入念に

進路選択をしていくにあたって、早めの対応が有効です。3年生になってから慌てることのないようにしたいものです。進学であれば1・2年生から進路相談会やオープンキャンパスへの参加も可能です。早めに志望校を決定しておくためにもこれらの機会を十分に活用しましょう。なお、オープンキャンパス等に保護者の方が足を運ぶケースも珍しくなく、入学金や授業料などのことも確認できます。

3 子どもと意見が違う場合は…

子どものやる気を損ねることとして、保護者の価値観だけで判断し意見を押し付けられることや、自分の希望や夢を頭ごなしに否定されることです。否定や押し付けを避けて、一度すべてを受け止めてから自分の経験をふまえて親の考えを話してみてください。本音で向き合い、話し合いをすすめていく中で、お互いに納得できる方向性を見出すことができるかと思えます。

4 受験に向けて…普段の生活を大切に

合格をつかみとるためにはご家庭のバックアップが欠かせません。ベストな状況で試験に臨むべく、普段の生活を大切に、健康で規則正しい生活を送ることができるようサポートをお願いします。

また、面接では大人とのコミュニケーション力が問われます。保護者とのコミュニケーションをうまくとっていくことで、しっかりと会話できる生徒へと成長していくことができます。普段のコミュニケーションを大切にしていってほしいと思っています。普段の生活が効果的な受験対策につながります。一日を大切に取組んでいってほしいと思います。

【重要情報2】 3年生・進学の「指定校推薦」については、その一覧を教室掲示して情報

を提供しております。志望校の指定があるかどうか、お子さんを通じてご確認ください。登米市就職ガイダンスは6月28日(金)午後実施です。